2006 年 G8 研究開発評価ワーキンググループ会合*について

期日: 2006年9月27日(水)~29日(金)

場所: カナダ・オタワ

参加国:加、米、伊、独、英、日 (仏、露は欠席)

【各国からの報告概要】

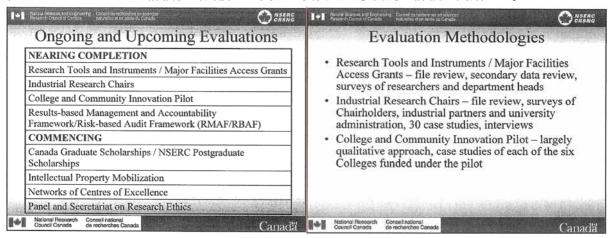
カナダ

"Canadian S&T: What s New?" Susan Morris (NSERC) & Shannon Townsend (NRC)

・自然科学技術研究振興機構(NSERC)

研究設備・施設の評価、産業研究会議の評価、イノベーションを先導する大学や共同体の評価、成果重視のマネジメント・説明責任のフレームワーク/リスク重視の監査のフレームワークの評価については、ほぼ終了している。

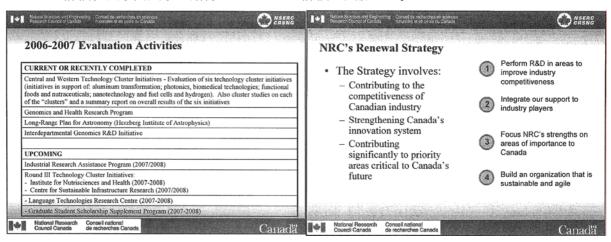
カナダの大学院奨学金/NSERC 大学院奨学金の評価、知的財産の運用の評価、優れた研究拠点のネットワークの評価、研究倫理に関する委員会と事務局の評価を開始した。



・国家研究機構 (NRC)

6 つの技術クラスター事業評価、遺伝と健康イニシアティブの評価、天文学の長期計画の評価、遺伝に絡んだ融合領域の評価は、終了もしくは終了間近である。

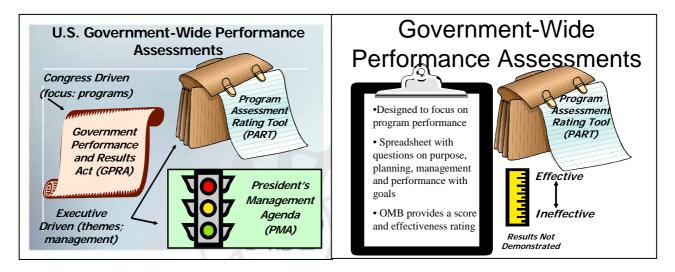
今後は、産業研究支援プログラムの評価、クラスター事業の3回目の評価、言語技術研究センターの評価、大学院奨学金給付プログラムの評価を実施する。



*ドイツ研究協会会長の提唱により昭和54年から開催されている先進7カ国研究会議代表者会合において、 先進国の指導的科学技術関係者が、科学技術上の諸問題や政策等の共通関心事項について、会議形式や参加者 の公的立場にとらわれない自由な討論を行う場として、年1回各国持ち回りでワーキング会合を開催。 (平成11年からロシアが参加し名称もG8となった。)

米国

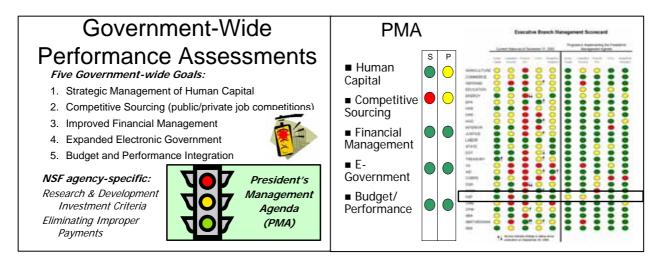
- "Evaluation of Research at the (U.S.) National Science Foundation" James S. Dietz (NSF)
- ・米国国立科学財団(NSF)における評価について説明があった。
- ・研究開発の実績評価には GPRA、 PART、 PMA の 3 種の手法があり、 は議会主導でプログラム評価に重点が置かれており、 ・ は行政主導でマネジメントに重点を置いている。



- ・政府全体のパフォーマンス基準として、PMA (FY2005)で以下の5つの目標を掲げている。
 - 1.人材の戦略的なマネジメント
 - 2.競争的な資金調達
 - 3.財務管理の改善
 - 4.電子政府の拡充
 - 5. 予算と実績の一体化

PMA 評価では、各機関の評価の現状と進捗状況が色で一目瞭然にわかるようにしている。

・NSF 独自に研究開発に対する投資基準があり、不適切な投資を排除しようとしている。



(参考) Performance and Accountability Report』http://www.nsf.gov/pubs/2006/nsf0601

イタリア

"R&D evaluation in Italy: recent developments" Giorgio Sirilli (CNR)

- ・イタリアでは、以下の理由により、研究開発評価は十分普及していない。
 - コストパフォーマンスと説明責任の概念が十分普及していない。
 - 公共関与のプログラムが低レベルにある。
 - 資金調達のタイミングの不確実さ。
 - 目標の定義が不十分。
 - 官僚的形式主義。
 - 資源が分散する傾向にある。
 - 評価の専門家が不足している。

Why R&D evaluation is insufficiently diffused in Italy?

- # insufficient diffusion of the concepts of value for money and accountability
- ₩ low level of programming of public intervention
- ₩ insufficient definition of objectives

- ・そのような実情に対して、現状ではどのように実施され、今後どのように考えられるかについ てコメントされた。

R&D evaluation experiences in Italy

- \$\mathbb{H}\$ Evaluation of scientific activities of research agencies (INFN, etc.)
- \$\mathbb{H}\$ Evaluation of research agencies from CIVR (Committee for Research Evaluation)
 - ₩ Agencies' "Internal Evaluation Panels"
- # Evaluation of universities from CNVSU (National Committee for the Evaluation of the University System)
 - # Universities' "Internal Evaluation Committees"

About the future



- ₩ Evaluation is going to stay with us
- ₩ From a bureaucratic to a more participatory approach
- ₩ Promotion of the evaluation profession
- ₩ Increase of human and financial resources
- ¥ R&D Evaluation: a good investment

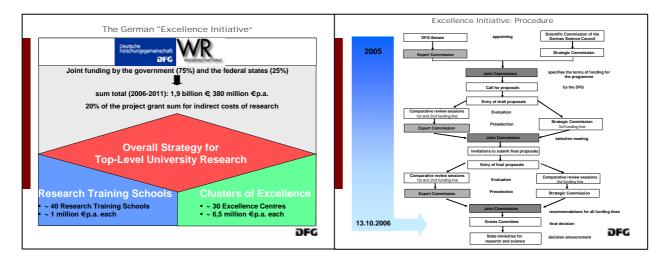
ドイツ

"Country Updates: Germany"

Jens-Peter Gaul (DFG) & Stefan Echinger (Max Planck Institute)

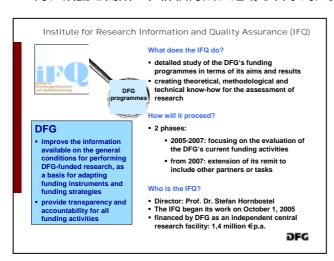
・トップレベルの大学における研究に関する総合戦略として、政府(75%)と連邦各州(25%) で共同の財政支援を行うこととしている。

2006 年から 2011 年まで総計 19 億ユーロ、年 3 億 8 千万ユーロ間接経費として総額の 2 0 %



· Institute for Research Information and Quality Assurance(IFQ)

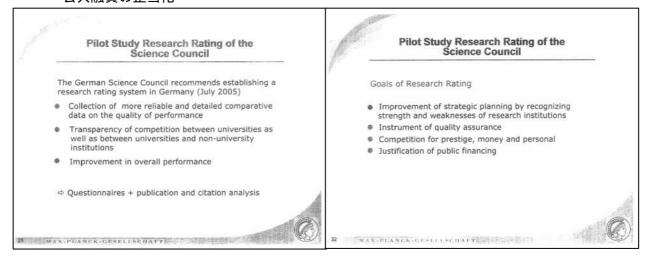
ドイツは、評価において適切な専門知識をあまり多く持っていない面もあるが、DFG (Deutsche Forschungsgemeinschaft)が中心になって資金提供している IFQ は、昨年10月に活動を開始し、評価方法に適切な科学的知見を提供するようにしている。



- ・ 2005 年 7 月、科学評議会(Science Council)は、研究の格付け制度の確立を勧告し、ランキングに関するパイロットスタディーが開始された。
 - パフォーマンスの質について、より信頼できる詳細な比較のデータを集めること
 - 大学と大学以外の研究機関の競争と同等に大学間での競争の透明性を確保すること
 - 全体のパフォーマンスを改善すること

そのために、アンケートに加えて、論文と引用に関する分析を行っている。

- ・研究の格付けの目的
 - 研究機関の強みと弱みを認識することによる戦略的な立案に改善すること
 - 質を保証する手段
 - 名声、金銭、個人のための競争
 - 公共融資の正当化



・パイロットスタディーを通じて明らかになった重要なポイントを説明した。

